

第5学年 国語科学習指導案

1 単元名・教材名 事実と考えを区別して、活動を報告する文章を書こう 「次への一步—活動報告書」

2 児童の実態と本単元の意図

(1) 児童の国語科における実態

本学級の児童は、国語の学習において集中して取り組んでいるが、積極的に挙手をして発言する児童と、恥ずかしくてなかなか発言できない児童がいる。しかし、物語文で登場人物の気持ちを書き込むときはほとんどの児童が叙述をもとに書きこむことができている、ノートやワークシートにも工夫してまとめたり、丁寧に書こうとしたりと意欲的に取り組んでいる。また、「なまえつけてよ」で人物相関図やあらすじをまとめた際や、「見立てる」「生き物は円柱形」で要旨をまとめ書く際は、学習したことを生かして文章表現に注意して書くことができた。

(2) 本単元の意図

本単元は、小学校学習指導要領・国語の第5学年及び第6学年「B 書くこと」の目標である「目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考え文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。」を受け、指導事項「イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。」と「ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。」の育成を目指して設定したものである。

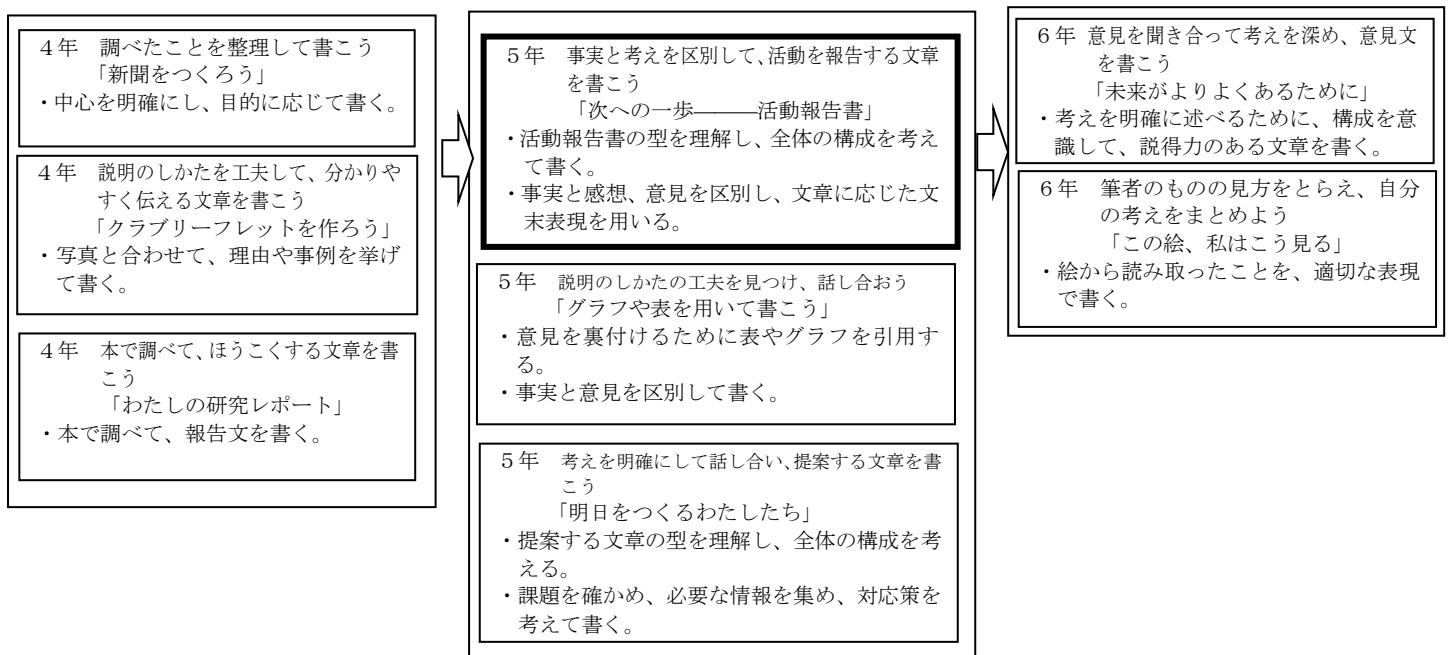
教科書では、「係活動」を見直し、報告する文章にまとめるという言語活動が設定されている。本学級の児童は、今年度から委員会活動に参加するようになり、6年生と協力して意欲的に活動に取り組んでいる。しかし、決まっている活動には積極的に取り組んでいるが、新たに工夫したり問題意識を持ったりして活動するまでには至っていない。自分たちが取り組んでいる活動、企画した活動について全体を見通し、委員会活動の目的や内容に当事者意識を持ち、主体的に行うことが、今後も求められる態度であると考えられる。そこで、本教材では、書く力を高めるために今年度から委員会に参加している5年生に向けて活動報告書を作るという言語活動を設定する。5年生同士で委員会の目的や意義、魅力、活動内容などを紹介しあうことで、他の委員会がどのように活動を行っているのかを知るとともに、委員会活動の大切さに改めて気づき、今後の委員会活動や来年度以降の委員会選択と活動への意欲、さらには委員会を含めた特別活動への意欲をも高めることができる。また、明確な目的意識と相手意識をもたせることで、委員会活動について相手に正確により魅力的に伝えなければならないという責任感を持つことができるため、意欲的に取り組んでいくと考えられる。この活動報告書が「次への一步」となるように、これまでの委員会活動を振り返り、自らの経験をもとに、活動の目的や内容、その結果などを含めた経緯を事実として具体的かつ正確に書き、また、活動の中で考えたことや活動を振り返っての思いも自分の言葉で表現していく。

(3) 児童観

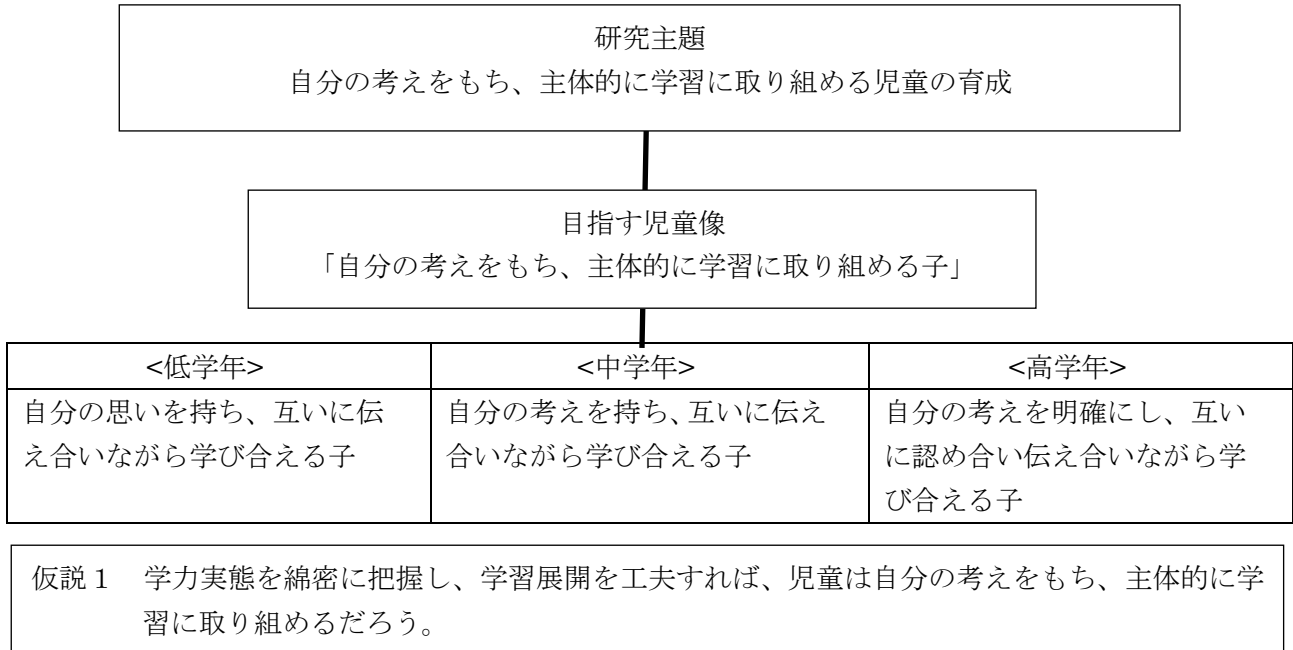
児童はこれまでに、「気になる記号」（3年上）で横書きの書き方を知り、集めた材料をもとに報告する文章を初めて書いている。「新聞を作ろう」（4年上）において、新聞の特徴をとらえ、一人一都道府県を本や地図帳で調べ、他の学級の児童とおうちの人に伝わるように割り付けや見出しを考え、伝えたいことの内容を明確にしながらか新聞を作る学習をしている。調べた内容の中から一番伝えたいことを選んで記事を書くことができたが、記事の多くは事実で、そこから自分の思ったことや感じたことを記事に表現することができない児童もいた。「新聞を読もう」（5年）では、記事の編集のしかたや記事の書き方に注意して新聞記事を読み比べ、見出しやリード文、写真などから要旨をとらえたり、書き手の意図を読み取ったりする学習を行った。地方紙と全国紙とで書き手の意図があり違いがあることや要旨をとらえることはできたが、書き手の意図を読み取ったり、事実と感想、意見などの関係をおさえて読み取ったりすることが難しい児童もいた。また、「わたしの研究レポート」（4年下）では、百科事典や図鑑、科学読み物などの本で調べて、得た情報をもとに、調査報告文を書く学習を行った。その際、本から自分の設定した課題に合った内容を読み取ることはできたが、引用の表現を使ったり自分の考えを分けて記述したりすることに苦手意識をもつ児童の姿が見られた。活動を報告する文章を書く経験は本単元が初めてである。そこで、活動報告書を作る活動を通して、所属する委員会の目的や活動を理解し、その中で何を一番に伝えたいのか、何を書けば所属する委員会の魅力や意義が伝わるのかを明確にさせたい。また、読み手を意識し、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、文章全体の構成の効果を考えて書く力を身に付けさせたい。このことが、「グラフや表を用いて書こう」（5年）で、意見を裏付けるためにグラフや表を引用して事実と意見を区別して文章を書くことや、「未来がよりよくあるために」（6年）で実際にあったことやそれらの記録と、自分の考えを区別して文章を書くことにつながると考えられる。

◆単元の系統性については以下に示す通りである。

書くこと	イ	自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること
書くこと	ウ	事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること
書くこと	オ	表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること
言語活動例	イ	自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり、編集したりすること



3 研究主題との関連



〈手立て〉

○書く内容をあらかじめメモに書いておき、その中から選ばせることで、目的や意図に沿って、書きたいものを選んで書くことができるようにする。

本時では、自分自身の委員会活動を振り返り、よりよい活動にしていくためにはどうしたらよいかを事実と考えとに分けて記述する。個人の活動を振り返り、良かった点や反省点、それぞれの要因や改善案などを考えて書いていくため、個の支援が不可欠となる。本学級の児童の中には、活動の振り返りそのものに支援を要する児童も複数いるため、ここで大きな差が出るのが予想される。そのため、実際に書く前に活動を振り返る時間を設け、あらかじめメモに書いておくことで、すべての児童が自分の考えをもって授業に臨めるようにする。そして、本時では、自分の書いたメモの中から「活動報告書」の目的や意図に沿って、一番書きたいものを選んで書くことができるようにしたい。

○メモを付箋に書き、付箋ごとに区切って文章化することで、「事実」と「考え」を区別して書くことができるようにする。

本時では、事実と考えを区別して書くことができるようにする。前時に書いた「活動内容」は事実のみだったが、本時に書く「活動して考えたこと」「今後の活動について」には、事実と考えが両方含まれる。「今後の活動について」では、今後の計画（事実）と、それに対する提案（考え）と明確に区別できるが、「活動して考えたこと」の「良かった点」「反省点」「要因」については、事実と考えが明確に区別できない部分もある。しかし、「続けて頑張りたいこと」「改善していきたいこと」では、自分の考えを記述することになるため、その部分はしっかりと書き分けられるようにしたい。メモは、項目ごとに付箋に分けて書いておき、文章化するときも付箋ごとに区切って書かせる。短い文にすることで、より分かりやすくなるとともに、文末を意識して書かせることにもつなげたい。

4 単元の目標

- 学校での活動を振り返り、今後をよりよくするために活動報告書を書こうとしている。
(関心・意欲・態度)
- ◎活動報告書の書き方を理解し、必要な内容を考え、型に沿って書くことができる。(書くこと)
- ◎目的に照らし合わせて適切な表現を意識して書いたり、軽重をつけて取捨選択をして書いたり、目的や読者に立ち返って読み返したりすることができる。(書くこと)
- 活動報告書の構成や書き方、文末表現などを理解することができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

5 単元の評価規準と学習活動に即した評価規準

	ア 国語への関心・意欲・態度	イ 書く能力	オ 言語についての知識・理解・技能
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習経験を振り返り、構成を知り、分かりやすい活動報告書を書こうとしている。 ・委員会活動を振り返り、今後をよりよくするために活動報告書を書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動報告書の書き方を理解し、必要な内容を考え、型に沿って書いている。 ・目的や意図に応じて適切な表現を意識し、軽重をつけて取捨選択をしたり事実と考えを区別したりして書き、目的や相手に立ち返って読み返している。 ・活動報告書を読み合い、表現のよさを見つけて意見を述べている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動報告書の構成や書き方、文末表現などを理解している。
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ① 学習報告書を書く目的を理解し、単元全体の学習の見通しをもつとともに、今までの委員会活動を振り返って今後につながる活動報告書を書くことに意欲をもっている。 ② 活動報告書の構成や書き方の工夫を考え発表したり、友達の考えを聞いたりしている。 ③ 報告する文章の書き方に沿って、事実と考えを区別して書こうとしている。 ④ 文章の内容に興味をもち、文章構成を理解しながら進んで書こうとしている。 ⑤ 活動報告書にまとめたことを、互いに伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 活動報告書の文章構成に気づき、活動報告書に必要な構成と内容について考えている。 ② 自分の選んだ内容を報告するのに必要な内容を集めて整理している。 ③ 内容のまとまりごとに小見出しをつけて書いている。 ④ 事実と考えを書き表す文末表現の違いを理解している。 ⑤ 目的や意図に応じて適切な表現を意識し、軽重をつけて取捨選択をしたり事実と考えを区別したりして書いている。 ⑥ 目的や相手に立ち返って読み返し、推敲している。 ⑦ 友だちが書いた活動報告書のよさを見つけ、交流している。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 活動報告書の構成を理解している。 ② 横書きで書く書き方を理解して活動報告書を書いている。 ③ 事実と考えを区別して書く文末表現の書き方を理解し、適切に使って事実と考えを書き分けている。

6 指導と評価の計画（10時間扱い）

次	時	主な学習活動	・学習内容	評価規準・評価方法
第一 次	1	<ul style="list-style-type: none"> ○委員会活動振り返りカードを見直し、今までの委員会活動を振り返る。 ○教師作成の活動報告書を示し、相手や目的を確認する。 ○単元の学習課題を確かめ、学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○単元のゴールの内容 ○学習課題の内容 ○学習計画の立て方 ○相手：5年生 ○目的： <ul style="list-style-type: none"> ・違う委員会の友だちにどんな活動をするか知らせる ・今後の委員会活動をよりよいものにする 	ア① <ul style="list-style-type: none"> ・発言の様子や態度の観察 ・ワークシートの記述による考察
第二 次	2	<ul style="list-style-type: none"> ○中川さんたちの活動報告書を読み、項目や内容を確認する。 ○「活動計画」を読み、書き方を知る。 ○委員会活動振り返りカードを見直し、「活動計画」を整理し、記入する。 ○付箋に活動のアイデアをメモする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○活動報告書の構成 ①委員会のめあて ②1学期の活動計画 ③活動内容 ④活動して考えたこと ⑤今後の活動について 	ア② イ①② オ① <ul style="list-style-type: none"> ・発言の様子や態度の観察 ・ワークシートや付箋の記述による考察
3 ・ 4		<ul style="list-style-type: none"> ○中川さんたちの活動報告書を読み、「活動内容」の書き方を知る。 ○同じ委員会同士のグループで、委員会の活動内容を確認する。 ○同じ委員会のグループ同士で、話し合ったことをもとに、活動内容の下書きをする。 ○活動報告書の「活動計画」と「活動内容」の下書きを読み直し、推敲する。 ・個人 ・同じ委員会のグループ 	<ul style="list-style-type: none"> ○「事実」の書き方 ○「事実」の内容の確認 ○推敲 <ul style="list-style-type: none"> ・「活動内容」には事実が正確に書けているか。 ・一文が長すぎないか。 ・常体で書けているか。 ・他の委員会の人が読んでも分かりやすいか。 	ア② イ③④ オ② <ul style="list-style-type: none"> ・発言の様子や態度の観察 ・ワークシートや付箋の記述による考察
⑤ 本 時		<ul style="list-style-type: none"> ○中川さんたちの活動報告書を読み、「活動して考えたこと」の書き方を知る。 ○同じ委員会同士のグループで、「活動して考えたこと」と「今後の活動」を話し合う。 ○同じ委員会同士のグループで話し合ったことをもとに、「活動して考えたこと」と「今後の活動」の下書きをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「考え」の書き方 ○「考え」の話し合い <ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して得られたよい結果の要因の推測、続けて取り組みたい取り組み ・活動を通して起きた問題点の要因の推測、課題や問題点を解決するための活動 ○「今後の活動」の話し合い <ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動計画で頑張りたいこと ・今回の結果を踏まえて改善したいこと 	ア③ イ⑤ オ③ <ul style="list-style-type: none"> ・発言の様子や態度の観察 ・ワークシートや付箋の記述による考察

第二次	6	○活動報告書の下書きを読み直し、推敲する。 ・個人 ・同じ委員会のグループ	○推敲 ・「活動をして考えたこと」では「考え」が書けているか。 ・よかった点と反省点で二つの段落に分けて書けているか。 ・反省点の改善策は書いてあるか。 ・一文が長すぎないか。 ・常体で書けているか。 ・他の委員会の人が読んでも分かりやすいか。	ア④ イ⑥ オ③ ・発言の様子や態度の観察 ・ワークシートや付箋の記述による考察
	7・8	○推敲したことをもとに清書をする。	○活動報告書の推敲の内容の確認	ア④ イ⑥ オ③ ・発言の様子や態度の観察 ・ワークシートや付箋の記述による考察
第三次	9	○活動報告書を同じ委員会同士で読み合い、感想を伝え合う。	○活動報告書の交流 ○分かりやすい報告書のよさとその理由	ア⑤ イ⑦ ・発言の様子や態度の観察 ・ワークシートや付箋の記述による考察
	10	○活動報告書を違う委員会同士で読み合い、感想を伝え合う。 ○読み合って交換し合った交流カードを読み直し、自分や友だちの活動報告書のよさや工夫についてまとめる。 ○単元の振り返りをする。	○分かりやすい報告書のよさとその理由 ○活動報告書の交流 ○単元の振り返り ・本単元を通して身についた力 ・その力はどこで生かせるか ・がんばったこと ・うまくいったこと ・もっとよくしたいこと	ア⑤ イ⑦ ・発言の様子や態度の観察 ・ワークシートや付箋の記述による考察

7 本時の学習指導（5／10時）

（1）目標

「活動して考えたこと」と「今後の活動について」を、事実と考えを区別して書くことができる。

（2）評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 書く能力	オ 言語についての知識・理解・技能
・報告する文章の書き方に沿って、事実と考えを区別して書こうとしている。	・目的や意図に応じて適切な表現を意識し、事実と考えを区別して書いている。	・事実と考えを区別して書く文末表現の書き方を理解し、適切に使って事実と考えを書き分けている。

前時の学習内容	「活動内容」の書き方
---------	------------

（3）展開

学習活動	学習内容	○指導と評価の創意工夫 □支援が必要な子への手立て	時間 (分)
1 前時までの学習内容を想起し、本時のめあてを確かめる。	○単元のゴールの確認 ○「活動報告書」の構成 ①委員会のめあて ②1学期の活動計画 ③活動内容 ④活動して考えたこと ⑤今後の活動について ○本時のめあての確認	○学習のめあてを確認し、ねらいを明確にする。 ○文章の構成を確認し、本時では④⑤について書くことをおさえる。 ○めあてを共書きし、全員で確認する。	5
	事実と考えを区別して、「活動して考えたこと」と「今後の活動について」の下書きを書こう。		
2 活動報告書を読み、「活動して考えたこと」「今後の活動について」の書き方を知る。	○書く内容 ④活動して考えたこと ・よかった点とその要因、続けて取り組みたいこと ・反省点とその要因、改善していきたいこと ⑤今後の活動について ・今後の活動計画・委員会の目的に関して頑張りたいこと、工夫したいこと	○文末表現に気をつけて、事実と考えを区別して書くことを確認する。 ○④では良かった点と反省点から、書きたい内容をそれぞれ1つずつ選び、⑤からは一番伝えたいことを1つ選ぶことを確認する。	10

<p>3 前時までに作成したメモをもとに、友だちと内容を伝え合う。</p>	<p>○書き方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実と考えを区別する。 ・書きたいことを選んで書く。 <p>○前時までに作成したメモ</p> <p>④活動して考えたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よかった点→要因→続けて取り組みたいこと ・反省点→要因→改善したいこと <p>⑤今後の活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動計画・委員会の目的→頑張りたいこと、工夫したいこと 	<p>○選んだ内容について伝え合いをする。</p> <p>□事前に自分のメモを記述しておくことで、自信をもって伝え合いができるようにする。</p> <p>○声に出すことで、書く内容を自分自身で確かめられるようにする。</p> <p>○文末や接続語を意識して言うようにする。</p> <p>○文末や接続語が使われているかに気をつけて聞き、できていたところを伝え合ったり、アドバイスをしたりするようにする。</p>	<p>10</p>
<p>4 下書きを書く。</p>	<p>○書き方のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実と考えの書き分け ・段落（④は2つ、⑤は1つ） <p>○読み返す観点（◎○△）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実と考えが文末に気をつけて書けているか。 ・④は2つ、⑤は1つの段落で書けているか。 ・一文が長すぎないか。 ・常体で書けているか。 ・友だちに分かりやすく書けているか。 	<p>□うまく文章化できない場合は、板書を参考にして付箋の順に順番に書かせる。</p> <p>□できたことを誉め、自信を持たせる。</p> <p>○書き終わった児童には、自分で読み返しをさせる。</p>	<p>10</p>
<p>評価場面</p> <p>〈具体の評価規準〉 よかった点と反省点、今後の活動や提案について、事実と考えを区別して書いている。</p> <p>〈評価方法〉ワークシート</p> <p>〈手立て〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き終わった児童には、観点に沿って読み返し、友だちが読んで分かりやすい文章になるよう、言葉を書き加えるようにする。 ・自力で書き進められない児童には、黒板の言葉を参考にしながら、付箋に書いた言葉を順に書かせる。 			

5 下書きを読み合う。	<input type="checkbox"/> 交流カードの活用 <input type="checkbox"/> 交流の観点 (◎○△) ・「考え」が文末に気をつけて書けているか。 ・分かりやすく書けているか。 ・よかったこと ・思ったこと	<input type="checkbox"/> 下書きを渡して読み合い、よさやアドバイスを伝え合うようにする。 <input type="checkbox"/> 支援計画に基づいて、適切な支援ができるようにする。 <input type="checkbox"/> よさやアドバイスがうまく言えない児童には、個別に聞き取りをして、伝えられるようにする。 <input type="checkbox"/> 交流の様子を発表させる。	5
6 本時の学習を振り返る	<input type="checkbox"/> 振り返りの記入 ・伝え合い ・事実と考えの書き分け ・観点到に沿った推敲 ・交流カード	<input type="checkbox"/> 本時のめあてに沿った振り返りをするようにさせる。 <input type="checkbox"/> 具体的に何がどのようにできたのか、友だちの文章やアドバイスのどのようところがよかったのかについて詳しく書かせる。 <input type="checkbox"/> 振り返りの書き方のポイントを示し、めあてに沿った振り返りができるようにする。	4
<p><期待する学習の振り返り></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文末に気をつけて、事実と考えたことを区別して書くことができた。 ・交流カードで、友だちのよいところを伝えられた。 ・○○さんの～というところがいいなと思った。ぼくももう一度読み直して、もっと分かりやすい文章にしていきたい。 			
7 次時の予告をする。	<input type="checkbox"/> 次時の学習内容 ・文章全体の推敲	<input type="checkbox"/> 次時では、文章全体の推敲をし、清書につなげていくことを伝え、学習に意欲を持たせる。	1

次時の学習内容	文章全体の推敲
---------	---------

(4) 板書計画

ふり返り 読み合う	<p>④活動して考えたこと</p> <p>良かった点 — 要因 — 続けたいこと</p> <p>～できた ～だからだ(と思う) ～していきたい。</p> <p>～していきたいと思う。</p> <p>反省点 — 要因 — 改善したいこと</p> <p>～できなかった ～だからだ(と思う) ～していきたい。</p> <p>～していきたいと思う。</p> <p>⑤今後の活動について</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <tr> <td style="padding: 5px;">今後の予定 委員会の目的</td> <td style="padding: 5px;">頑張りたいこと 工夫したいこと</td> </tr> </table> <p>いつ、～がある。 ～していきたい。</p> <p>みんなが～するために ～するといいと思う。</p>	今後の予定 委員会の目的	頑張りたいこと 工夫したいこと	伝え合う 下書きを書く	<p>教科書本文</p>	<p>めあて</p> <p>事実と考えを区別して、「活動して考えたこと」と「今後の活動について」の下書きを書こう。</p> <p>次への一歩——活動報告書</p> <p>〈事実と考えを区別して、活動を報告する文章を書こう〉</p>
今後の予定 委員会の目的	頑張りたいこと 工夫したいこと					

④活動して考えたこと

良かった点 — 要因 — 続けたいこと

反省点 — 要因 — 改善したいこと

なぜかという だから

わけは そこで

⑤今後の活動について

今後の予定 委員会の目的	頑張りたいこと 工夫したいこと
-----------------	--------------------

そのために

そこで